資料5別紙

PCB廃棄物処理完了に向けた見通し

	リリング リング リング リング リング アン・ファイン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・フェン アン・ファン アン・ファン・ファン アン・ファン アン・アン・ファン アン・アン・ファン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア									
項目		単位	R3年度 までの	R4年度 以降の 処理対	以降の		込み	D7 & &	備考	
	1		処理量	象数量		R5年度		R/年度		
1. 北九州事業所						~ 準備期間 ┃	<u> </u>		・R4以降の処理対象数量には、今後の 掘り起こし見込み量310トンを含む	
安定器及び汚染物等		t	9,201	1,196	780				MI / だこしいしたいが 生の101 ノ 色 日 七	
2. 大阪事業所						事業終了	[*] 準備期間	<u> </u>		
変圧器類 	大型変圧器(2.5t以上)	台	298	0	(完了)				・R4.7末時点における登録台数をもとに 処理対象量を算定。 ・北九州分については、7月末時点での 行政への届出情報の台数。	
	小型変圧器(2.5t未満)	台	2,355	0	(完了)					
	車載変圧器	台	93	0	(完了)					
	車載変圧器(豊田分)	台	30	0	(完了)					
	変圧器類(北九州分) ☆	台		1	1			<u> </u>		
コンデンサー類	コンデンサー	台	84,063	91	91					
	特殊コンデンサー(北海道分)	台	70	0	(完了)					
	特殊コンデンサー(豊田分)	台	123	0	(完了)			İ		
	コンデンサー類(北九州分) ☆	台		154	154					
その他	PCB油	本	2,607	417	252	165			(内訳)ドラム缶 R4:240、R5:165、計405 試薬・検体 R4:12	
	PCB油(北九州分) ☆	本		20	20				(内訳) 試薬・検体20	
3. 豊田事業所				計画的処理	里完了期限		事業終了	準備期間	るか、守和5年度末まじに処理を終了。	
変圧器類		台	2,470	5	5				・R4以降の処理対象数量はR4.4~6の実績にR4.7以降の処理計画量を加えた値。また、R4.7以降の予測新規登録数を含む。 ・北九州分については、6月末時点での行政への届出情報の台数。	
コンデンサー類		台	77,219	644	644					
	コンデンサー類(北九州分) ☆	台		366	366					
PCB油類		本	2,025	158	158				(内訳)ドラム缶33 試薬・検体125	
保管容器		箱	3,151	22	22				ドラム缶が約2/3、残りはペール缶など	
4. 東京事業所				計画的処理	里完了期限		事業終了	準備期間		
変圧器類	変圧器類	台	3,731	2	2				・R4上期にコンデンサーについて331台 の新規登録があったことから、R4下期及 びR5上期、下期に各331台の新規登録 があると想定。	
	変圧器類(北海道分)	台	5	0	(完了)					
	変圧器類(豊田分)	台	30	0	(完了)					
コンデンサー類	超大型コンデンサー(200kg超)	台	483	4	4	0				
	大型コンデンサー(20kg超200kg以下)	台	64,603	1,993	1,559	434				
	小型コンデンサー(20kg以下)	台	9,331	272	246	26				
	超小型(3kg以上10kg未満)	台	8,074	613	411	202				
	極小型(3kg以下)	台	12	1	1					
PCB油(リンを含まない)		t	78	16	16					
リン含有PCB油		t	282	0.2	0.2				ì	
5. 北海道事業所	所		計画的処理完了		 里完了期限		事業終了準備期間		(コンデンサー内訳)	
変圧器類		台	4,069	43	43				40kg超 R4:306、R5:181、計487 40kg以下 R4:1,275、R5:755、計2,030 特殊 R4:119、R5:70、計189	
コンデンサー類		台	65,965	2,706	1,700	1,006				
				į	計画的処理	皇完了期限	事業終了	準備期間	・今後掘り起こしが見込まれる量(コンデ	
安定器及び汚染物等(北海道事業エリア)		t	3,697	436	436				ンサー約900台、安定器約700トン)については、掘り起こしの状況を踏まえて事	
	(東京事業エリア)	t	3,908	2,073	564	850	659		業終了準備期間も活用して処理する予 定であり、計画値には含まない。	
(注)	•				<u> </u>	ı	II.			

(注)

- 〇各事業所の計画は、事業部会、監視会議等で提示した処理の見通し等を記載している。
- 〇安定器及び汚染物等について、北九州は缶重量を含む。北海道は缶重量を含まない。
- OR3年度までの処理量については、試運転によるものを除いている。
- ○項目欄の☆は処理基本計画変更を踏まえ、北九州事業エリアの変圧器、コンデンサー等の処理を行うことを表している。